

がん治療と口腔粘膜炎について

～日頃から口のケアを行いましょう～



富山ろうさい病院 がん化学療法看護認定看護師 宮島玲子

みなさん、ご存知ですか？口の中に問題があることによって、がんの治療に影響を及ぼすことがあります。「私は虫歯がないから大丈夫だよ！」と安心してはいけません。歯科で口の中をきれいにしてから手術や治療を受けた患者さんは、歯科受診せず、きれいにしなかった患者さんと比べ肺炎等をおこす危険性がかなり低くなるということがわかっています。また、がんの治療である抗がん剤治療や放射線治療は、口の中の粘膜にも影響します。口の中の炎症のことを一般に「口内炎」といいますが、がんの治療の影響で生じる口内炎は「口腔粘膜炎」といわれています。「口腔粘膜炎」は、ひどくなると痛み等で食事や会話ができなくなることもあります。虫歯や歯周病等の病気があると発症しやすく、悪化しやすいものです。そのため、感染症や口腔粘膜炎などの予防や緩和のために、がん治療を受ける前に、歯科を受診し、口の中を整えてもらうことが重要です。

当院では、地域の歯科医院と連携しております。がん治療中に歯科医院の受診を希望される方は、病院担当医にご相談ください。

通院治療室に相談室が隣接されました。

がんの治療や副作用症状のこと、生活のこと等、お聞きになりたいことがありましたら、お立ち寄りください。



【事業所様へご案内】 以下のような内容で講師の派遣を行っています。ご相談ください。

- ・病気に関すること
 - ・治療と就労両立支援に関すること
 - ・健診や検診に関すること
 - ・その他
- (看護部が行えること)
- ・感染管理に関すること
 - ・皮膚・排泄ケア
 - ・糖尿病に関すること
 - ・がん看護に関すること
 - ・その他

<連絡先：地域医療連携室にご連絡ください。>